

2017年度（平成29年度）

研究部門名 地球科学研究部門

講座名 地球内部科学講座

教員名 津村 紀子

電子メール tsumura 理 earth.s.chiba-u.ac.jp

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 1名
- ・大学院修士 0名
- ・大学院博士 0名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

地球物理学実験 I

地球物理学実験 II

地殻構造学 II-2

物理学基礎実験

地球科学英語

プレートテクトニクスと地震・火山災害

地学概論 B

卒業研究

地球科学演習

特別演習 I

特別研究 I

地殻構造学 IV

(4) 国際会議出席と招待リスト

IAG-IASPEI 2017 日本（神戸） 2017年7月30日～8月4日

Arc-arc collision structure in the southernmost part of the Kuril trench region -Results from integrated reanalyse, T. Iwasaki, **N. Tsumura**, T. Ito, H. Sato, E. Kurashimo, N. Hirata, K. Arita, K. Noda, A. Fujiwara, S. Abe, S. Kikuchi, K. Suzuki, [S22-1-03] 8月1日, 口頭

Detailed crustal and upper mantle structure of the subducting Philippine Sea plate and the overlying southwestern Japan arc, revealed by dense seismic array observation, E. Kurashimo, T. Iidaka, **N. Tsumura**, T. Iwasaki, [J08-P-11] 8月3日, ポスター

Three dimensional attenuation structure in and around the source region of low frequency earthquakes beneath the Kii Peninsula, southwest Japan, revealed by dense seismic array observation, **N. Tsumura**, H. Nakasako, E. Umeyama, N. Mizuno, E. Kurashimo, A. Kato, S. Sakai, T. Iidaka, T. Iwasaki, [J08-3-05] 8月1日

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等（報道媒体，報道年月日，報道内容等）

(6) 国際並びに国内学会での受賞（賞名，その内容，受賞理由等）

(7) 国際共同研究（共同研究名，研究内容等）

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動，学会、国、県などへの協力，など

日本地震学会理事（広報担当）

日本地震学会広報委員会（委員長）広報紙の作成，アウトリーチ

科研費審査 基盤（C）第 25030 委員会担当

講演会 幕張公民館 2018 年 1 月 20 日「関東地域の地震活動と防災」

(9) 特許（発明者名，発明の名称，出願日，出願番号，整理番号等）（現時点で公表できるもののみ）